

# 体制間競争時代の日米同盟 —日米の国家安全保障戦略の比較からの考察—

宮岡勲研究会12期生

## 【研究の目的】

体制間競争が激化する21世紀の国際社会における  
日米同盟の在り方を分析する。

# 目次

---

**第Ⅰ章** 民主主義と権威主義の対立の中での日米戦略

**第Ⅱ章** 中国に対する日米のアプローチ

**第Ⅲ章** ロシアに対する日米のアプローチ



**WBS**  
WORLD  
BUSINESS  
SATELLITE

**第 I 章  
民主主義と権威主義の対立の中の日米戦略**

# 1-1 権威主義諸国に対するバイデン政権の外交戦略

①アメリカのリーダーシップと民主主義における

より良い再建(Build Back Better)が必要

②民主主義内部の危機と権威主義諸国からの攻勢

③同盟体系及びパートナーシップの再活性化や現代化

例) NATO、豪州、カナダ、日本、韓国、インド、ASEAN等

**米＋同盟＝世界経済の半分以上の力を結集し、  
友好協力の強化と中国等に圧力を!**



米	22,675,271	欧	17,127,535
日	5,378,136	英	3,124,650
豪	1,617,543	加	1,883,487
韓	1,806,707 (IMF, 2021)	合	<b>53,613,329/93,863,851</b>

## 1-2 権威主義諸国に対する日本の外交戦略

- ・基本的方針：**普遍的価値の擁護**
- ・背景：日本を取り巻く安全保障環境の不安定化
  - ⇒ 権威主義諸国の国防費増加
  - ⇒ ゲームチェンジャー的能力の構築
    - + ワクチン外交をはじめとする宣伝戦
- ・姿勢：日米同盟と自由で開かれたインド太平洋構想
  - ⇔ 相互理解に向けて一定程度中露とも協力

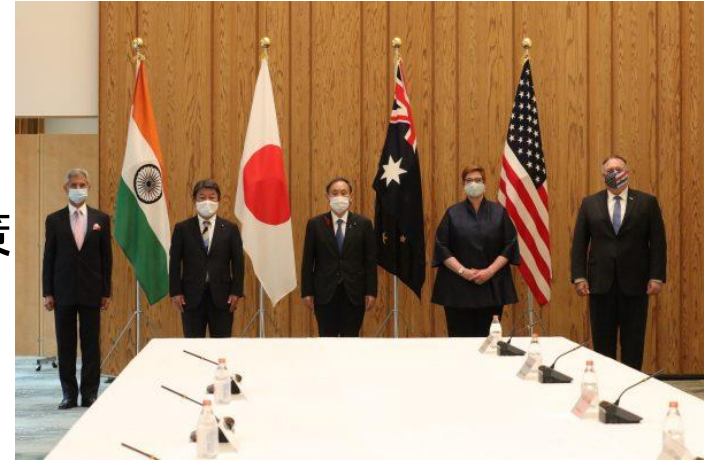


## 1-3 日米の外交戦略の比較

---

### 【共通点】

- ・「**普遍的価値**」保護を掲げ、権威主義国家に対する脅威意識を共有。  
例) QUADやFOIP構想を通じた協力。自由主義諸国間の連帯の強化
- ・経済安全保障への意識  
例) 岸田政権による経済安保相創設、  
トランプ政権時代から継続する関税政策



## 【相違点】

### ・対抗姿勢の度合い

⇒アメリカは明確に対決姿勢を打ち出す一方、  
日本は公式文書等への明記は避けている。

⇒日米の国力・地理的な条件が要因となって、  
態度の差を生み出しているのではないか。





A close-up portrait of Xi Jinping, the President of the People's Republic of China, smiling slightly. He is wearing a dark suit jacket over a white shirt. The background is the red flag of the People's Republic of China, featuring five yellow stars. A semi-transparent white banner is overlaid at the bottom of the image, containing the chapter title in black Japanese text.

## 第Ⅱ章 中国に対する日米のアプローチ

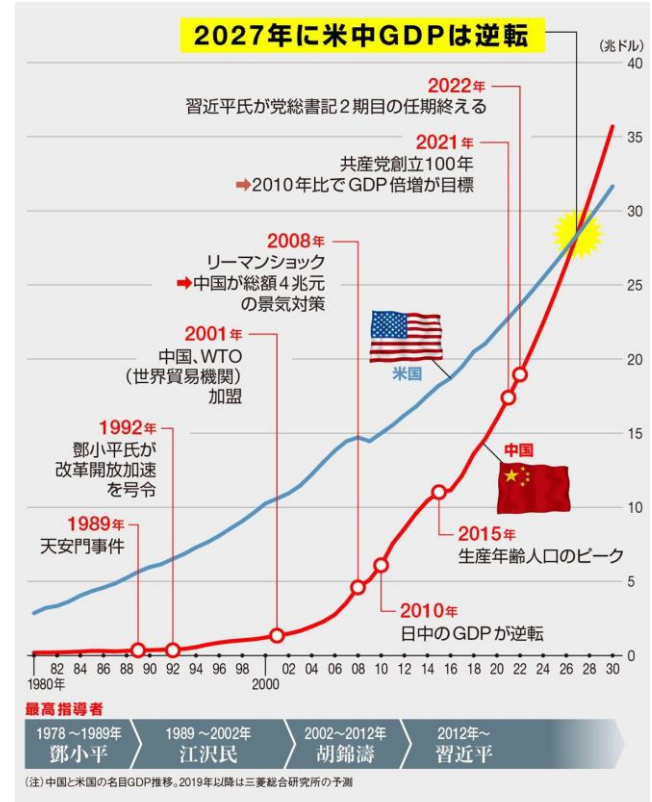
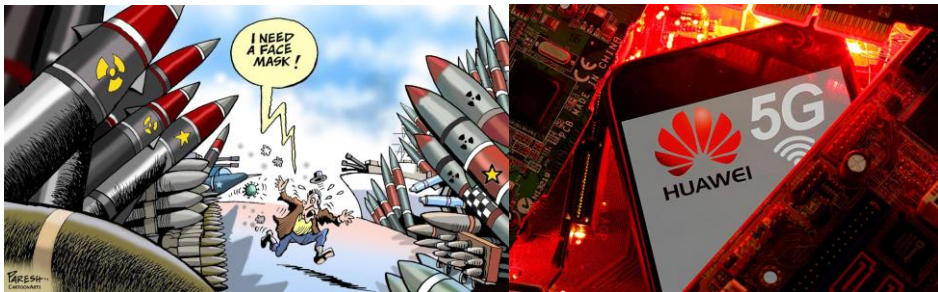
# 2-1 アメリカの対中戦略

## 1. バイデン政権における中国の位置付け

中国:「**既存の国際秩序に対する挑戦者**」

- ・経済、軍事・科学技術分野での中国の台頭
- ・中国の海洋進出、人権問題の表面化

例) 台中問題、新疆ウイグル自治区

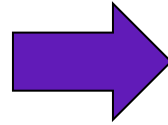


出典:「米国超え後の正念場」東京経済オンライン、2019年

## 2. 対中戦略の基本方針

### ・対中強硬姿勢の保持

- ・気候変動、核・軍備管理 などの地球規模の課題に米中共同で対処。



二項対立の回避  
米中の歩み寄り



<米政府高官による提言>

競争と協調のバランス  
⇒中国との安定した競争関係の構築  
の上に米中の共存を図る。

## 2-2 日本の対中戦略



### 【対中認識】

- ・昨今のパワーバランスの変化の担い手
- ・「我が国を含む国際社会の懸念事項」

⇒ 不透明な軍事発展に対する高い警戒感

※2007年までは国防白書、08年以降は財政省資料など。21年は予算案

出典:「中国の国防費6.8%増、伸び率拡大 米と対立長期化、軍拡鮮明」中日新聞、2021年3月6日

- ① アジア太平洋地域の平和と安定の前提としての安定的な日中関係
- ② 日中間の経済的関係への配慮

## 【方針】

・明確な対抗意思の表示

例) 尖閣諸島、東シナ海

・中国に「自制を求めつつ」、  
「冷静かつ毅然として対応」



## 2-3 日米の対中戦略の比較



・強硬的なアメリカの対中戦略  
⇒トランプ政権を継承？

・東南アジア諸国との連携強化  
⇒中国の海洋進出を牽制


・台湾にF-16戦闘機66機を売却  
⇒対中戦略の一環

・比較的慎重な対中戦略  
⇒経済的関係への配慮

・日台安全保障協力関係の不在  
:中国と敵対関係にある台湾  
⇒対台湾軍事支援は、  
日中安全保障問題に発展？

+ 日米の対中戦略のベクトルは同じ

- 具体的な政策レベルでは差異がある

A portrait of Vladimir Putin, the President of Russia, wearing a dark suit, white shirt, and a purple tie. He is standing in front of the Russian national flag, which is partially visible in the background. The image is overlaid with a semi-transparent grey box containing Japanese text.

**第Ⅲ章**  
**ロシアに対する日米のアプローチ**

# 3-1 バイデン政権の対ロ戦略

## 【対ロ認識】

ロシアは権威主義的な統治様式を推進

## 【対応策】

- 1) 自由民主主義秩序を守る
- 2) 同盟国と連携して権威主義に立ち向かう
- 3) 核問題について意思の疎通を図っていく

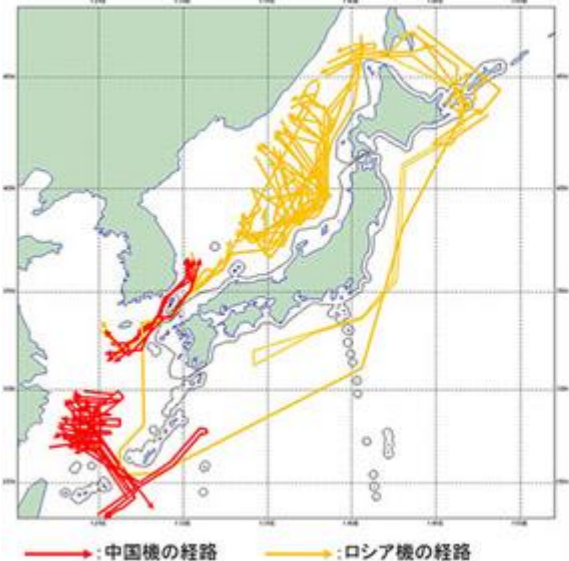




# 3-2 日本の対ロ戦略

## 【対ロ認識】 ロシア軍の活動が近年活発化

緊急発進の対象となった航空機の飛行パターン例



## 【対応策】

### 1) 宇宙:

- 宇宙作戦隊新編
- 日米合同軍事演習
- 能力強化(宇宙監視,C4ISR)
- 民間との連携

### 2) サイバー:

- サイバー防衛隊新編
- 多国間防衛演習

### 3) 電磁波領域:

- 電磁波作戦部隊新編
- 統合電子戦訓練
- 各種電子戦装備取得

### 4) 日本周辺:

- 警戒監視
- ⇒ロシア機,北方領土の戦力増強

## 3-3 日米の対口戦略の比較



・ロシアとの「激化する対立関係」  
⇒「長期的な戦略上の競争相手」  
として対抗

・エネルギー分野などで協力姿勢  
を示す  
・実務的コンタクトを増やす

＋宇宙・サイバー・電磁領域、核管理における日米対口戦略の一致  
－グレーゾーン事態では協調の余地が少ない

# おわりに

---

- **【共通】目的と価値**

- アメリカ:「インド太平洋戦略」
- 日本「自由で開かれたインド太平洋戦略(FOIP)」構想

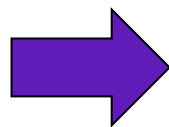
- **【相違】政策方向**

- アメリカ: 権威主義諸国に対する強硬姿勢
- 日本: 権威主義諸国との衝突の回避

## 【課題】

①自由民主主義的価値の実現に対するコミットメントの差

②台湾に対する価値の認識の差



民主主義諸国の連携強化へ